

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170100731		
法人名	アクセプトラライフ株式会社		
事業所名	銀子堂		
所在地	佐賀市中の小路4-16		
自己評価作成日	令和5年7月18日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和5年8月29日	外部評価確定日	令和5年10月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>職員一人一人が利用者様の立場に立ち、利用者様の残存機能を生かせるような介護が出来るように日々勉強や試行錯誤を重ねています。 地域の公民館に行く、お祭りに参加する等に努め、地域住民とのふれあい支援や家族の方にとっても来訪しやすい環境作りをし、利用者様が孤立しないお手伝いをしながら、地域の中で『明るく 楽しく 元気よく』の理念の基、家族の方々と共に家族同様の介護を目指しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>市街地の一面にある事業所で、利用者の生活を大切に考えられている。日頃から細かい気づきを経過記録に残し情報を共有され、体調の変化がみられる場合には医療機関に相談し早めに対応されている。3か月に1回のモニタリングを基本にされているが、状態変化がある際には早期に見直し、その方に即したケアプランを作成され家族に同意を得てケアに活かされている。望まれる生活を目指すために食事摂取を大切にされており、安全に経口摂取ができるように食事形態が5形態あり、嚥下状態に応じて選択することが可能となっている。職員一人ひとりが入居者の事を考え、また地域に根差した事業所を目指されている事業所である。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『地域の中で 明るく 楽しく 元気よく』 という理念の基、理念の実践を念頭に置き日々の業務に取り組んでいます。	同左	入居者の望む生活を支援するためにコミュニケーションを大切にしていた情報共有をされている。また、日頃のバイタル測定や食事の摂取状況を確認し体調管理を行われ明るく楽しく元気よくの理念に基づいたケアを提供されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域公民館へ月1回の行事参加、地域祭りへの参加等を利用者様と共に行っています。 新型コロナウイルスの感染拡大により中止になる行事もあり外出は控えていました。感染状況と催しの内容や感染対策がとれるのかの判断を行いながら少しずつ参加を増やして行きたいと思っています。子供会の行事は来訪頂いています。	同左	コロナ以前より、地域の関わりに重きを置いていたが、コロナの影響により希薄になっている。しかし、感染状況や入居者の身体状況により可能な範囲で地域に出向き、つながりを大切に考えられている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護福祉健康相談を随時受入れる事を来訪者やお電話の際お伝えしています。実際にお電話の相談や来訪しての相談等も受け付けています。	同左	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナの感染状況に鑑み3密の会議は難しいと判断しています。文書にてのやり取りを希望される方が多い為文書でのやり取りをしています。状況報告、情報公表、外部評価などの取り組み、運営計画などを報告し、意見交換を行っています。また、頂いた意見は議事録に残し改善と質の向上を目指しています。	同左	現在は コロナの影響もあり 文書を配布し、委員の皆さんより意見を聴取し運営につなげられている。文書は郵送することもあるが、持参することで直接意見を伺うなど工夫をされており、家族には玄関先で閲覧できるようにされている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市が開催する、ネットワーク(地域ケア会議)等に参加したり、運営推進会議においても意見交換に努めています。	同左		行政より入居の相談などを受け見学に来所されることはあるが、生活保護の方が多く入所につながるケースは少ない。他にも、家族が気になる制度などについて、市の職員が施設を訪問し家族や職員に向けて講話を行うなど関係性を構築されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の勉強会の実施や参加、マニュアルの準備、身体拘束ゼロ宣言掲示などを行い、職員の拘束に対する理解を深め、必ず職員が見守る事にし、錠をかけないケアに努めています。	同左		身体拘束については、契約時に実施しない方向性を示している。現在、身体拘束に対する事例はなく、夜間帯のみ玄関を施錠されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	資料やマニュアルを使用し勉強会を行い職員の虐待に対する理解を深め、ミーティングや日頃の業務を通して勉強した事を常に生かし虐待防止に努めています。外部開催の勉強会にも参加し勉強しています。	同左			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会に参加し、知識を深めるよう努め、職員ミーティング時に話し合っています。また、運営推進会議時や外部勉強会等でも同様です。	同左			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には利用者様、御家族様とゆっくり話せる時間を設け電話の利用を含め十分な説明を行い同意を得ています。改定時も都度説明し同意を得、理解納得に努めています。	同左			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苑内苦情箱、苦情担当者を設置。苦情公的窓口の紹介を契約書にも記載し、口頭でも説明しています。相談、苦情内容の経過を記載し改善に向け取り組んでいます。運営推進会議、家族会その他随時意見を頂く機会を設けています。日常の会話の中でも些細なことを拾っていきけるよう努力しています。	同左	玄関に意見箱を設置されているが、投函された実績はない。日頃の家族連絡や報告の際に意見を聴取し、運営に反映されている。以前に夜遅い時間帯(21時～23時)の面会を希望された家族に対し、他の利用者の生活状況などを踏まえ根拠に基づき家族と話し合い、理解を求めたケースがあった。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回全員参加の全体会議、随時意見や提案を聞く機会を設け、意見交換の場にし、反映させるよう努めています。	同左	月に一度の会議の中では、ケアを統一する方向性を話し合うことがメインとなっている。日々の業務の中で問題が発生した場合には、その都度話し合い運営に活かす取り組みが行われている。職員の定着率もよく関係性が良いため解決に向けた話し合いを互いに行い、取り組まれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各々の努力や実績など段階に応じたチェックリストを基に条件の整備などに努めています。又、個人の生活環境の変化により勤務時間等希望も取り入れるよう努めています。	同左		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じた研修や資格を取る為の援助をしています。	同左		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	感染対策等を含め可能な限り他施設との交流研修会や合同勉強会への参加を促しています。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	基本情報作成時、入居前に担当のケアマネジャーや病院よりの情報や本人、御家族様の要望や不安点を十分な時間を用いて作成。初期プランを作成する為の担当者会議なども行っています。	同左			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	自宅介護中困っていた事、不安点、今後の要望等十分にお聞きし、それを受け止めて、御家族様と相談を重ねながら日々業務に努めています。	同左			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談などを行っています。必要に応じ体験入居期間なども設けています。基本情報だけでなく生活歴もしっかり取り取ります。	同左			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残在機能を残す為利用者様の出来る事を一緒に発見し、喜怒哀楽を共に感じたり、逆に利用者様から教わる事、助言を頂く事、励まされる事も多くあり感謝しながら日々の業務に努めています。また、忙しい時間には手伝おうか?や持ってこんね!と手伝って下さいます。	同左			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族より野菜やおやつの差し入れや、日用品等提供もあり、協力しながら生活しています。あるがままの生活状況を見て頂きその状態を伝えていきます。私達が気付けない気付きを頂きます。可能であれば食事介助など一緒に行い御家族様との絆を大切にするように努めています。	同左			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染状況により面会制限を行っています。出来る限り顔を見て話が出来る環境や状況を作れるよう努力しています。また、面会時間が重ならないよう事前に電話を頂いたりご協力頂いています。 各室にご自身の作品や持ち込みの小物を設置して頂いたり、カードを飾ったり馴染みの個室作りに努めています。	同左	市内の利用者が多く友人の面会なども多く見られている。面会時間は18時までとなっているが、状況に応じて面会時間を過ぎても対応できる場合もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	どのような時にトラブルが起こりやすいか全員が周知し、トラブル発生時は直ぐにスタッフが仲裁できるようにしています。 利用者様同士お互いが助け合えるような環境作りに努めています。	同左		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	葉書を出す、電話のやり取りをするなどに努めています。現に退居された方々のご家族がお話に来られたり差し入れを持って来られたりします。	同左		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時の基本情報を十分にとる。 個人個人に合ったケアプランの作成と都度のカンファレンス、見直し。 日々の生活の中で思いを聞き取りたり発見したりします。	同左	入居前に本人や家族からこれまでの生活歴の情報を収集し、望まれた生活を提供できるように工夫されている。また、面会や電話での連絡、手紙などで近況報告し望まれる生活に変化がないか確認され情報を共有されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様、御家族様と共に生活歴を作成し、これまでの生活環境を把握。 ケアプランの見直しは担当だけでなく、日々のケアの中から多くの職員と実施しています。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の状態を個人経過記録に記入していき、日々把握し、ケアプランと照らし合わせている。 1ヶ月毎のケアカンファレンスにて職員全員現状を把握しています。	同左		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントを基に御家族様や職員とのモニタリングにて意見交換やアイデアを出し合い全職員が分かりやすい計画を立てプランを作成しています。	同左	3ヶ月から6ヶ月ごとにケアプランを見直し作成されている。カンファレンスの際には、医師や看護師などから情報をもらい入居者に即したサービスが提供されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の経過記録記入はもちろん、日々の申し送り、重要事項データにて全職員が情報共有化が図れるよう努め、プランの介護内容を日常業務にて実施出来ているか、必要なかを毎日チェックし、計画の見直しをしています。	同左		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	計画は見直し期間ではなくても状態変化に応じ随時見直すようにしています。看護師や医療連携体制の健康管理の基、急変時の対応に、重度化、終末期の体制作りに努めています。感染状況の中でも希望に添えるよう支援しています。	同左		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染状況や体調の変化により見合わせることもありますが、地域行事の清掃作業やお祭り等に参加にてお手伝いできる事を一緒にし、顔見知りの関係を作る事に努めています。又、地域の方との触れ合いを見守り支援に努めています。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	緊急時に対応して頂ける協力機関 があり、予約を取り直ぐに受診でき ます。(必要時には往診も可) 医療連携を取っている病院だけでな く、利用者様御家族様の希望の医 療機関を受診できるよう努めていま す。	同左		協力医療機関とは、24時間365日連 絡が取れる体制が整っている。また 2週間に1回の往診もあり 健康管理 に努めている。 協力医療機関以外のかかりつけ医 とは、事業所側が話をを行い、夜間 でも対応できるように調整をされて いる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよ うに支援している	介護職員は利用者様の状態変化や 気づきの報告や相談を管理者や看 護職員へ相談しています。必要があ れば医療連携のかかりつけ医の看 護師に電話で相談できる体制を取 っています。	同左			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行って いる。	入院中、情報交換を密に行い、退院 への調整、今後の対応など話し合 うよう努めています。 又、訪問診療や往診時にはもちろん ですが、体調の変化があれば直ぐに 状態報告し相談や指示を医師より 受け、入院しても直ぐ対応できるよ う努めています。	同左			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所ですることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	契約時に、重度化、終末期の指針 を説明し同意を得ていますが、重度 化や終末期時には説明と同意を都 度得る機会を増やします。 余命宣告などあれば、家族の面会 も密にして頂き、相談しながら1カ月 おきの計画を作成。状態変化に応じ て随時話し合いながら変更や追加 をします。	同左		契約時より終末期の意向を確認さ れて看取りまで対応することは可能 である。直近の看取り実績はない が、希望された場合は協力医療機 関と連携を図り訪問看護を利用し、 対応することが可能である	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルも準備し急変に備えてきちんと個人々人を管理し、随時医師や看護師の指導を受けています。普通救命の受講を受けている職員もいます。	同左			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を年に2回実施。消防署の職員の方よりご指導を受けています。また、防災について地域の方々やご家族様よりご意見を頂き取り組みに反映させています。	同左	年に2回の防災訓練の際には、可能な限り地域住民や消防団も参加され実施されている。水害の際には垂直避難できるようになっておりBCP(事業継続計画)を現在作成されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	時には親しみを込めて方言を使用したりしていますが、常に利用者様を尊敬する心は忘れないよう努めています。また、感謝を言葉で伝えるよう心掛けています。例えば、トイレ誘導時にはあからさまに行わないよう着脱更衣も全て個室にて行っています。利用者様から秘密にしておきたい話をしてくださることもあり他者へ漏れないよう配慮しています。個人情報取扱いは掲示し職員も周知徹底しています。	同左	入居者とのコミュニケーションでは尊厳ある言葉遣いを意識できるように接遇の研修を実施し、親しみやすい言葉を掛けることで関係性を構築出来るように指導をされている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	好き嫌いを聞いたり選んでいただく、次はこんなものを食べたい等聞きとりしている。嫌いな食べ物は工夫して食べて頂けるよう配慮します。生活していく中で好きな事ややりたい事等の希望を見つけられるよう支援している。洋服も個人の能力に合わせ選んでいただく等に努めています。	同左			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	趣味がある、家事が好き、歌が好き、好みのTV番組が見たい、新聞・広告・雑誌で色んな情報を見たい、肌の手入れをしたい。その方のペースを大切にするとともに、時には皆と一緒に楽しむ等工夫しながら希望に添えるよう支援しています。出来る限り自発的に行えるよう見守る事にも努めています。	同左		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	スタッフの価値観で服を選ぶのではなく本人に色、柄、生地等選んでもらっています。ご自身で伝えられない方には選ぶお手伝いをしています。整容は好みの髪型や小物を選んでつけていただいたりしています。	同左		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の能力にあわせています。下ごしらえを手伝っていただいたり、味付けなど出来ることを一緒に行ったり、片付けをしています。好みの食べ物や料理を聞いてメニューを変更することもあります。残存機能を生かした食事介助を行う。などに努めています。コロナ禍になってからは一緒に食事を楽しむことはできませんが同じ空間を共有しています。	同左	食事形態は、常食、一口大、刻み、極刻み、ミキサー食を提供され、嚥下能力に応じて選択されている。食材は配達サービスを利用し、食事は一緒に準備や片付けをされる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量のチェックは毎日行い、管理栄養士より助言をいただきながらバランスの取れた献立を立てています。食事がすすまない方には嗜好物を提供し補食としたり、スプーンの大きさ、長さ、テーブルの高さなどを変えて食べやすさをサポートしています。	同左		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは個人の能力に合わせて必ず行います。まずはご本人に行っていただき、その後職員が補助具を多用しながら手直しの介助を行っています。又、歯科医師や歯科衛生士より口腔ケアの指導や助言を頂いています。義歯の消毒は定期的に行います。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	下着、パッド、紙パンツ等を日中、夜間、外出時はもちろん時間帯に応じて使い分けています。 全員チェックシートを用いて個別の排泄パターンを職員全員周知しています。可能な限りトイレにて排泄できるよう支援し、ご本人の失敗したくないという思いも配慮した支援をしています。	同左		トイレ誘導を基本とし、排泄チェック表を用いて時間帯で誘導されている。夜間帯のみパッドを使用される事もあるが、パッドを使用されていた方が時間帯誘導をすることでパッドから離脱できたケースもある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックは毎日行い、常に個別の排便コントロールを図っています。 便秘傾向の方には食物、飲み物、腸運動にて可能な限り自然に排便を促すように努めています。飲食物については管理栄養士より助言もいただきます。	同左			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調に留意しながら、長すぎず、短かすぎず個人の希望に合わせて入って頂いています。 入浴の順番も考慮しています。	同左		入浴は週に2回実施されており、基本は曜日が固定されているが状況に応じて柔軟に変更される。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	経過記録を基に、睡眠パターンを職員全員が把握するよう努めています。場合により、偽薬を使用することもあります。安心して気持ちよく眠れるよう本人の意向も取り入れて、休息も個々に応じた休息を取り入れています。	同左			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々人の薬袋があり薬の目的、作用をすぐに取り出せる場所に置き、職員全員周知しています。薬包には名前を記入し、日付け毎に分けて正しく服用できるように管理しています。又薬剤師と連携しきちんと服用出来る様相談したり加工を個々人で変えています。	同左			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴やご本人の性格や現状を基に、役割を見付け、一緒に行うよう努めています。又日課を見つけ支援しています。 毎日身体を動かす時間を午前午後や食事前に取り入れています。	同左		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ感染状況により外出の機会は減りました。又、見合わせることもあります。本人より希望があれば必ず家人に伝え、連れて行けるように支援したりしています。体調や状況を見ながら、私たちが行ける所は行事として検討しています。(地域行事の参加、お花見など)状態に応じ、日常生活の中でもドライブに出掛けるなど支援しています。	同左	近くの公民館の催しに、毎月参加されることもありコロナの状況に応じて対応されている。また子供会の訪問などもあり、地域に根差した施設を目指されている。入居者の要望で服を買いに近くのデパートまで出掛ける事もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	能力に応じてお金を持って頂くこともありますが現在はいらっしゃいません。 (御家族様立会いの下や本人様の下で出納帳を作成し、スタッフも所持金額を把握していました) 外出した先で使用する場合は立て替えています。	同左		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご希望があれば電話を使用して頂くこともあります。葉書など支援しながらご本人に作成して頂き家族に送るなどに努めています。又年賀状、暑中見舞い、お礼状を作成する支援もしています。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの声を呼び声と勘違いされる利用者様には音量に気を配る。昼夜トイレの電気は消さず分かりやすくする。又安全にも配慮しながら配置しています。また、時には季節に合わせた飾りつけを行っています。居室内の電気の色を替え温かみのある色にしました。	同左		共同スペースには入居者が作られた作品が掲示されている。ユニットにはトイレが2箇所あり、スプリンクラーの設備もある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングソファの置き場を変えたりテーブルや椅子の配置を変えたりしながら工夫する事で、一人の空間を作ったり、少人数で過ごせる場所を作っています。	同左			
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御家族様に飾りや本人使用の物を持ってきて頂いている為、私物の多い利用者様の個室は安心して過ごせる空間になっています。出来るだけ使い慣れた物や見慣れた物を使用いただき安全にも配慮しています。私物が少ない方はこちらで生活用品を準備しています。	同左		居室には ベッド、クローゼット、洗面台、タンスが設置されており、家電や家具などを自由に持ち込むことができるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に配慮し、廊下、トイレ、風呂場、居室、玄関への手摺りの設置、浴槽内への滑り止め、マットの設置、スリッパ着用止め等、利用者様の身体状態に合わせた履物の工夫をし、見えやすく、分かりやすい工夫で自立支援をしています。	同左			

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	—	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	—	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	—	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	—	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	—	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	—	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	—	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	—	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	—	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	—	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	—	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	—	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	—	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない